

<https://sippo.asahi.com/neko-byoin/>



≡ネコも≡ 動物病院 プロジェクト

「ネコも動物病院プロジェクト」って？

ネコが動物病院に かかる数が、イヌに比べて とても少ないことを ご存じですか？

ネコは警戒心が強いので、そもそも動物病院に連れて行くのが大変。しかも、体調の悪さをあまり外に出さない動物です。具合が悪いことを我慢してしまい、異変に気付いた時には手遅れということも多いそうです。重い病気になる前に、定期的に動物病院で受診することを習慣にして、どのネコにも健康で長生きしてもらいたい。

sippoはそんな考えから、「ネコも動物病院プロジェクト」を始めました。

ネコを連れて、動物病院に行きましょう。

Instagram

動物病院に連れて行ったネコの写真を、**#ネコも病院**をつけてInstagramに投稿してください！

投稿方法

STEP 01

写真を撮る

「動物病院にいるネコちゃんの写真」
または
「通院につかうキャリーバッグとネコちゃん一緒に撮る写真」

STEP 02

Instagramに投稿する

#ネコも病院 をつけて投稿

STEP 03

Sippoアカウントをフォローする

sippo_official



1投稿当たり100円を保護活動に寄付

1投稿につき100円をネコの保護活動のために寄付させていただきます。あなたがネコの健康を考えて行動することで、どこかで飼い主のいないネコも救われます。(上限1万件:100万円)



インスタ投稿で素敵なプレゼント

投稿された写真の中からsippoが毎月ベスト3を選び、月替わりで素敵なネコグッズをプレゼントいたします！

Interview

健康で長生きなネコちゃんが増えて欲しいニャ〜。



「猫は不調を隠す。健康なうちに予防を」 カナダの猫専門医が解説

sippo
2017.11.10 掲載

私が飼い主さんにはっきりとお伝えすることがあります。それは「病気になってから対処するよりも、健康なうちから予防したほうが、トータルでは絶対、お得ですよ」ということです。

猫にはケガや病気による痛みや苦しみを、周囲に悟られまいとする本能があります。目に見えて具合が悪そうにしているころには、症状はかなり進んでしまっているのです。猫の健康寿命を一日でも長く維持するには、元気そうに見えるうちから病気のサインをいち早く見つけることが大切なのです。

私の病院でも定期的に愛猫の健康診断を行う飼い主さんが増えています。実際に、日常生活の中では発見しにくい歯の疾患を検査で発見し、進行をくい止めたこともあります。物言えぬ愛猫に変わって、健康を維持できるのは飼い主さんだけ。ぜひ予防医療の新しい情報を手に入れて、愛猫のケアに役立ててもらえたらと願っています。



カナダで猫専門病院 Bytown Cat Hospitalを営む 獣医師スーザン・リトル先生

▶▶▶ 詳細はsippo特設ページの「お役立ちトピックス」をご覧ください。

犬や猫とちょっと幸せに

Sippo

— シッポ —



ベリンガー・インゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン株式会社

ベリンガー・インゲルハイム アニマルヘルス ジャパンは「ネコも動物病院プロジェクト」を応援しています。